

### 令和6年第1回 栗原市議会定例会

- 日程・内容
  - 2月14日(水)本会議 会期の決定、議案の提案理由説明など
  - 21日(水)本会議 一般質問(代表質問)
  - 22日(木)～27日(火)本会議 一般質問(個人質問)
  - 28日(水)本会議 一般質問(個人質問)、議案の総括質疑など
  - 29日(木)～3月1日(金)各常任委員会・予算特別委員会 付託議案審査
  - 4日(月)本会議 各常任委員会・予算特別委員会委員長報告、質疑、討論、採決など
  - 5日(火)～8日(金)予算特別委員会 令和6年度当初予算議案の審査
  - 11日(月)本会議 予算特別委員会委員長報告、質疑、討論、採決など
  - ※土・日曜日、祝日は休会
  - ※一般質問や議案の件数によって会期を変更する場合があります。
- 開会時間 午前10時～  
※3月4日(月)は、午後1時30分開会
- 場所 市役所4階 議場
- 傍聴 席数25席

### 令和6年度任期付市費負担教員採用試験

- 試験概要
  - 試験日 3月3日(日)
  - 試験会場 金成庁舎
  - 試験方法 小論文、面接
  - 一般選考 小論文、面接
  - 教職経験者特別選考 面接
  - 採用区分、採用人数
    - 小学校教諭 7人程度
    - 中学校教諭 1人程度
  - 受験資格
    - 共通事項
      - 教育職員免許法に規定する小学校、中学校教諭の普通免許状を所有している人または、令和6年3月31日までに取得見込みの人
      - 地方公務員法第16条および、学校教育法第9条の欠格条項に該当しない人
      - 教職経験者特別選考
        - 宮城県職員永年勤続者表彰(宮城県職員表彰規定第5条)の表彰を受けている人または、宮城県以外の自治体で同等の表彰を受けている人
    - 申し込み 募集要項と申込書は、金成庁舎2階学校教育課で配布します。申込書に必要事項を記入の上、付市費負担教員を募集します。
    - 選考種別
      - 一般選考
      - 教職経験者特別選考
    - 申込期限 2月28日(水)
    - 試験日 3月3日(日)
    - 試験会場 金成庁舎
    - 試験方法 小論文、面接
    - 一般選考 小論文、面接
    - 教職経験者特別選考 面接
    - 採用区分、採用人数
      - 小学校教諭 7人程度
      - 中学校教諭 1人程度
    - 受験資格
      - 共通事項
        - 教育職員免許法に規定する小学校、中学校教諭の普通免許状を所有している人または、令和6年3月31日までに取得見込みの人
        - 地方公務員法第16条および、学校教育法第9条の欠格条項に該当しない人
        - 教職経験者特別選考
          - 宮城県職員永年勤続者表彰(宮城県職員表彰規定第5条)の表彰を受けている人または、宮城県以外の自治体で同等の表彰を受けている人
      - 申し込み 募集要項と申込書は、金成庁舎2階学校教育課で配布します。申込書に必要事項を記入の上、

- 全国瞬時警報システム 全国一斉情報伝達試験
  - 日時 2月9日(金) 午前11時
  - 試験内容 緊急時に迅速・確実に緊急情報を伝えるため、国から配信された緊急情報を受信し、防災行政無線を自動起動させて、試験用の放送を市内一斉に流します。
  - 当日は、防災行政無線で午前9時30分に試験実施の事前告知放送を行います。
  - ※災害の発生状況、気象状況により、試験を中止する場合があります。
- 放送内容 防災行政無線から、次の内容が一斉に放送されます。
  - これはJアラートのテストです(3回繰り返し)
  - こちらは防災くりはら広報です
  - ※安全安心メールによる配信はありません。
- 放送内容 防災行政無線から、次の内容が一斉に放送されます。
  - これはJアラートのテストです(3回繰り返し)
  - こちらは防災くりはら広報です
  - ※安全安心メールによる配信はありません。
- 総務部危機対策課
  - ☎(22)1149
- 高齢者の運転免許自主返納支援
  - 市では、運転免許証を自主返納した高齢者に「運転免許自主返納者証(プラチナパス)」を交付し、さまざまな支援を行っています。
  - 対象者 市内に住所がある満65歳以上で、運転免許証を自主的に返納した人
  - 支援内容
    - 金成延年閣、花山温泉湯山荘、ハイルザーム栗駒の入浴料・利用料の免除
    - ※3施設合わせて3回まで利用可能

- 総務部危機対策課
  - ☎(22)1149
- 高齢者の運転免許自主返納支援
  - 市では、運転免許証を自主返納した高齢者に「運転免許自主返納者証(プラチナパス)」を交付し、さまざまな支援を行っています。
  - 対象者 市内に住所がある満65歳以上で、運転免許証を自主的に返納した人
  - 支援内容
    - 金成延年閣、花山温泉湯山荘、ハイルザーム栗駒の入浴料・利用料の免除
    - ※3施設合わせて3回まで利用可能

- 支援店の利用による特典やサービス
  - 市の文化施設など、対象施設の入館料無料
  - 運転経歴証明書で受けられる支援 運転経歴証明書の提示で、次の支援が受けられます。
    - タクシー乗車料金10パーセント割引
    - 大型スーパーでの割引など
  - 申請に必要な書類
    - 運転免許取消通知書の写しまたは、運転経歴証明書の写し
    - ※運転免許取消通知書、運転経歴証明書の交付手続きは、警察署または、運転免許センターに問い合わせください。
    - 顔写真(縦3.0×横2.4センチメートル)
  - 申請方法 各総合支所市民サービス課に備え付けの申請書に必要事項を記入し、必要書類を添付の上、提出してください。
  - 後日、運転免許自主返納者証を送付します。
  - 総務部危機対策課
    - ☎(22)1149

## 市内の文化財散策

### 細倉當百

藩政時代末期、細倉鉱山には、鉱山内で鑄造し、使用された独自の貨幣がありました。鉛を使い、表面に細倉當百と鑄出されたこの貨幣は、角の丸い正方形で、中央に同じく正方形の孔が開いています。大きさは一辺約60ミリメートル、孔の大きさは一辺約10ミリメートル、重さは17.5グラムほどと非常に大型のもので、裏面には「秀」の文字があり、奥州平泉の藤原秀衡が用いた花押を模したものとされています。

昭和39年に出版された「細倉鉱山史」によると、細倉鉱山は、銀山として天正年間(1573～1592年)から稼業しており、延宝3年(1675年)の記録では、少ないながらも鉛を産出しているとあります。元禄1(688)～1704年、文化・文政(1804)～1830年の繁栄と天保(1830)～1844年以降の衰退を経て、安政(1854)～1860年の頃に回復期を迎えたとされており、細倉當百が作られたのは、細倉鉱山が活気を取り戻し、鉛の増産に務めた文久(1861)～1864年の頃にあたります。職人の給与や日用品の売買に使用された細倉當百は、鉱山内に限って通用するものとされていましたが、栗原だけではなく、岩手県の磐井地方にも残っており、その分布範囲の広さには、当時の細倉鉱山の影響力の大きさが表れています。

現代では貨幣の愛好家に収集され、複製品の販売や地域の銘菓のモチーフとして取り上げられるなど、鉱山の繁栄の歴史を伝える存在として、人々に親しまれています。

### 問 教育部文化財保護課

☎(42)3515



▲細倉當百(複製品)



## 市長随感

栗原市長 佐藤 智

### 日本一の住みたい田舎

今年の1月に宝島社が出版した「田舎暮らしの本」で毎年行われている「住みたい田舎ベストランキング」で2024年版「人口5万人以上10万人未満の市総合部門」において、栗原市が見事、全国第1位を獲得しました。過去に東北1位を獲得したことはありましたが、全国第1位となったのは初めてで、移住施策の他、子育てや高齢者福祉、教育、産業、インフラなどのさまざまな項目を総合して評価されたとのこと。

地域が一体となってまちづくりに取り組んできたことが、このような素晴らしい栄冠につながったことには、言葉では言い表せないほどの大きな喜びを感じております。市民の皆さん一人一人のご支援・ご協力があったからこそ日本一です。

これからも栗原市の魅力を全国に発信しながら、田舎暮らしに興味を持つ人との出会いにつなげ、明日を担う子どもたちに「豊かな美しいくりはら」を引き継ぐため、皆さんと歩んでまいります。



▲移住希望者向けの相談会も積極的に実施